

脊髄損傷

ニュース・ホットライン

頸髄を損傷したクリストファー・リープは電動車いすに人工呼吸器を乗せ、ヘッドレストに埋め込んだ3個の近接スイッチを操作して移動できている。彼は頭を左右と後方へ動かすことができるのでヘッドコントロール方式で適応できたが、頭をほとんど動かすことができない頸髄損傷者の場合、舌接触式スイッチ付きUCS1000システムがある。このシステムはアメリカの new Abilities System 社製で、車いすの操

舌接触式スイッチによる電動車いす操縦

縦と車いす座席のリクライニング/チルト等を操作できる。さらに携帯電話のやりとり、ベッド、電灯、テレビ操作など「環境制御」も可能となる。朝日新聞(2000年6月7日付の夕刊)に紹介された女子学生ブルック・エリソンさんはこの装置を使ってハーバード大学を卒業している。

(藤井直人 神奈川リハビリテーション病院
リハビリテーション工学研究室)